

活動拠点

クラブの拠点施設とは、会員が実際に運動やスポーツなどの活動を行う学校体育施設や公共スポーツ施設と、事務所的な役割を果たし、クラブ経営の拠点となるクラブハウスのことです。

これらの施設は、既存のスポーツ団体が既に利用しており、設立された総合型地域スポーツクラブが優先的に利用することが困難な場合もあります。このため、関係者や関係団体との合意形成を行う過程で、総合型地域スポーツクラブの目的や活動、公益性などについて理解を得ておく必要があるといえます。また、利用施設は限られていますが、実態把握をしてみると活用されていない、まだ無駄な使い方をしている場所やコートがあるようです。そういう場所に新しいプログラムを吹き込むことによって活動する人も増え、楽しいスポーツ活動が展開されることあります。

(クラブハウスについて)

地域スポーツクラブは地域住民の活発な交流を行うことができるコミュニティの場となることも期待されています。そこで、身近にある学校体育施設や地域体育館等、クラブ経営の拠点やクラブの情報の発信・集約拠点となるクラブハウスとしての機能を十分に果たすことができる施設が必要となります。クラブハウスがあると、会員の帰属意識や一体感を一層高めることにつながっていきます。

地域に使われていない公共施設や学校体育施設など地域で眠っている場所を探してみましよう。

クラブは、スポーツ・文化の活動の場であるだけでなく、地域の方々の活発な交流が期待できるコミュニケーションの場でもあります。その中心となるのが「クラブハウス」です。「クラブハウス」は会員一人一人のクラブライフをより豊かなものにするための拠点施設として、重要な役割を担っており、ぜひ設置を検討いただきたいもののひとつです。